

平成21年度事務事業評価表	担当	教育委員会 庶務課	内線等	1624
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	小中学校建設事業			
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	4. 豊かな心と創造性を育むまちづくり	施策名	学校教育	
基本目標、施策に対する貢献度	3点 施策の達成に非常に効果があった			
市長マニフェスト	災害に強いまちづくり			
市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み			

事務事業の内容

対象(受益者)	児童生徒のために
手 段	小中学校の校舎等の施設整備を行うことにより
成果、目標	安全安心な学習環境を確保する。

成果指標

成果指標名	校舎、体育館耐震補強工事実施率	校舎、体育館耐震補強工事進捗率	
成果指標の説明	$(\text{年度内補強実施棟数} / \text{年度内補強予定棟数}) \times 100$	$\{(\text{実施棟数} + \text{補強済棟数} + \text{補強対象外棟数}) / \text{全体棟数}\} \times 100$	
指標の推移	平成20年度決算(実績)	平成21年度決算(実績)	平成22年度予算(計画)
成果指標	100%	100%	100%
成果指標	64.0%	81.3%	88.5%

事業の概要

項 目	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
校舎耐震補強	2棟 25,399千円	24棟 410,483千円	10棟 334,000千円
校舎新築	0棟 0千円	1棟 471,293千円	0棟 0千円
体育館大改・補強等	1棟 23,515千円	0棟 0千円	0棟 0千円
耐震実施設計委託	8棟 35,874千円	33棟 50,835千円	2棟 11,300千円
プール改修	0校 0千円	0校 0千円	1校 35,000千円
その他	0千円	108,319千円	159,600千円

事業にかかる人工

(単位：人)

H20 人工計	1.00人	次長 課長級	0.20人	補佐級		係長級	0.20人	一般職	0.60人	非常勤		再任用	
H21 人工計	0.95人	次長 課長級	0.20人	補佐級		係長級	0.20人	一般職	0.55人	非常勤		再任用	

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項 目		平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	84,788	1,040,930	539,900
	人件費	7,000	6,585	
	合計	91,788	1,047,515	
財源 内訳	特定財源	0	458,398	
	一般財源	91,788	589,117	

事業の仕分け

A 現行どおり市が実施	説明	学校教育法に基づき、公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本方針及び公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する施設整備基本計画に従って実施する。
-------------	----	---

必要性

必要性	A 市が実施すべき
-----	-----------

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
-----	-----------------------------

総合評価

総合評価	B 事業の進め方に改善の余地がある
------	-------------------

改善点、問題点等

過去の改善点	実施設計の早期実施により、全体の事業規模を正確に掴むとともに、年度ごとの事業量を適切に配分した計画作成を行った。
現在の課題、問題点	財政的には国の補助金によって耐震化事業計画の前倒しが可能となる見込みだが、それに伴う複数の学校の耐震化工事の同時進行によって、一時的に工事を管理監督する技師が不足することが、問題点としてあげられる。また同じ原因により、工事日程と学校行事予定とのすり合わせ等の現場調整が複雑化することも問題点である。
今後の改善計画	今後は、夏期休業期間を中心とした工事を行うなど、学校運営に支障をきたさないような学校行事等日程の調整が課題である。